

子どもの感情表現は多様

「聞く」「共感する」姿勢で

親子・家族で会話を

新潟市西区で小学2年の女兒(7)が殺害された事件は、多くの人たちに衝撃や不安を与えた。女兒が通った小針小では、カウンセラーに相談する児童や保護者もいる。心の変化にどう向き合えばいいのか。事件後に小針小の保護者会で講演し、スクールカウンセラーとして活動する新潟大の長沢正樹教授(特別支援教育)に聞いた。

心のケア 小針小で講演 長沢新潟大教授に聞く



「子どもはどんな反応を示す可能性があるのか。今回のような事件は、大人から見ても理不尽で、明確に説明がつかない。子どもはなおさらです。感じ方も様々で、夢のように思う子もいれば、恐怖を感じる子もいる。悲しんだり、ケロッとしたりと感情表現も多様で、被害者の周りの人を逆なでするような不適切な行動をしてしまう子もいる。ただ、本心でやっているのだから、決して叱っては



スクールカウンセラー

学校で児童や生徒らの相談を受ける。新潟市の場合、臨床心理士、精神科などの専門家、大学で教育相談や心理学を専門にしていることが条件。全ての公立小中学校に専属がおり、定期的に巡回する。

いけません。

「子どもの反応を大人はどう受け止めるべきか。話や行動をしつかりと受け止め、理解しようとする姿勢が大切です。忠告や意見、苦し紛れのアドバイスは避けるべきです。やがて子ども自身が、整理して納得できる時が来ると思います。

また、日頃よりも話す機会を増やす。事件の話題で

■つらい出来事を経験した子どもと接する際の主なポイント

- 出来事の受け止め方、実感する時期、表現の仕方などは人それぞれ
- 話したりふれあったりする機会を増やす
- 意見やアドバイスをするよりも、「聞く」「共感する」姿勢で
- 普段通りの生活を大切にする

事件や災害で重点的なケアが必要な場合は、専属とは別にカウンセラーを派遣して対応する。小針小では9月16日に、児童58人、保護者7人が相談を受けた(いずれも延べ人数)。

はなく、たわいもない会話で十分。一緒にいる時間や触れあいを増やすこともいいです。

「小針小では、同級生を中心に心身の不調を訴えている子が出ている

経験を共にした子は、いろいろなことを思い出し、「楽しかったよね」と共有し、無理に忘れさせようとしなくてください。

「年月が過ぎて、動揺するケースもあるのか。十分ありうるもので、一定期間は子どもの様子を注意深くみる必要がある。元気はあるか、口数は減っていないか。そのためには、普段はどんな子なのか、大人がしっかり分かっているか、変化に気づけない。「不審者」などの言葉で急に感情がふれることもあり、PTSDを疑うべきケース

もある。

通学路の見守りが増えるなど、子どもの生活環境にも変化が生じている

街が物々しい雰囲気になり、親や先生の態度の変化を察知し、子どもがプレッシャーを感じることは考えられる。大人に求められるのは、例えば見守りが増えたことについて「今までより安心して暮らせるよ」と必要性をきちんと説明すること。「あなたも不審者に気をつけなさい」などと言っただけでは、かえって恐怖をおおります。

「事件は、現場周辺以外にも衝撃を与えた。同じ学区でなくても、敏感に反応する子は多いはずで、大人は子どもの様子をきちんと見るべきです。事件に関する情報を一切シャットアウトしたいという子もいるかもしれない。感情表現の一つ。子どものペースに合わせることも何よりも大切です。

「ショックを受けている大人もいる。大人同士で会話することも大切です。親同士、学校の先生、友人など、自分の気持ちを話し出すことで楽

「大人がすべきことは、こうした事件の場合だけでなく、日常生活にも通じるように思う。学校の先生や地域の人たち、警察など、子どもを守ってくれる存在はたくさんいる。ただやはり、一番の主役は親や家族。親子の会話が前よりも分かったりという実感が持てれば、親子にとって、とてもいいことではないでしょうか。」

(聞き手・北沢拓也)

厨房プランはスギコから

厨房機器・調理用品・食器
洗剤・輸入製品全般



スギコ産業株式会社

本社 〒959-0593 新潟市西蒲区遠藤2810-3
☎(0256)86-3711代 FAX(0256)86-2000
新潟営業所 〒951-8051 新潟市中央区新潟町一ノ町1976
☎(025)224-2177代 FAX(025)224-2180